

資料2 NICU を退院した低出生体重児の長期フォローアップに関するアンケート調査 調査票

この調査は各施設1名の先生に回答をお願いしています。施設内でフォローアップの方法などが統一されていない場合には、回答者の先生の判断でお答えください。回答には5～10分程度かかります。

数字を記入するか、該当する選択肢◎(一択)にチェックをつけて下さい。複数選択肢の場合には、該当する□にチェックを付けて下さい。その他の場合や記述式回答には内容の記入をお願いします。可能なかぎり、すべての項目への回答をお願い申し上げます。

1. 加算をとっている病床数をお答えください。

新生児特定集中治療室(NICU)管理料1 _____床

新生児特定集中治療室(NICU)管理料2 _____床

新生児治療回復室(GCU)入院管理料 _____床

いずれも0床の場合は、以後の回答は不要です。

2. 貴施設では自施設のNICUを退院した低出生体重児のお子さんを、退院後初回からフォローアップ終了まで、あるいは健診や療育機関等への移行まで、自施設の外来で継続的にフォローアップしていますか。出生体重区分別に教えてください。

*一部の例のみしている、**していない の場合は、フォローアップしていない例の退院後の受診先を、出生体重区分別に教えてください(複数回答可)。

出生体重1000g未満

◎	ほぼ全例している
◎	*一部の例のみしている
◎	**していない

*一部の例のみしている、**していない の場合

□	地域の病院・小児科
□	地域の開業医・小児科
□	その他(地域の健診を含む)

出生体重1500g以上2000g未満

◎	ほぼ全例している
◎	*一部の例のみしている
◎	**していない

*一部の例のみしている、**していない の場合

□	地域の病院・小児科
□	地域の開業医・小児科
□	その他(地域の健診を含む)

出生体重1500g以上2000g未満

◎	ほぼ全例している
◎	*一部の例のみしている
◎	**していない

*一部の例のみしている、**していない の場合

□	地域の病院・小児科
□	地域の開業医・小児科
□	その他(地域の健診を含む)

出生体重2000g以上2500g未満

◎	ほぼ全例している
◎	*一部の例のみしている
◎	**していない

*一部の例のみしている、**していない の場合

□	地域の病院・小児科
□	地域の開業医・小児科
□	その他(地域の健診を含む)

3. 貴施設では NICU 入院中に転院した出生体重 1500g 未満の極低出生体重児のお子さん(バックトランスファーを含む)を、自施設の外来でフォローアップをしていますか。

☐	ほぼ全例している
☐	*一部の例のみしている
☐	**していない

*一部の例のみしている、**していない の場合は、自施設でフォローアップしていない転院例のフォローアップ外来受診先について教えてください(複数回答可)。

☐	すべて転院先の施設
☐	Key age のみ自施設、その他は転院先の施設
☐	フォローアップ受診先は不明
☐	その他 内容_____

4. 貴施設の NICU を退院した極低出生体重児のフォローアップを主に担当しているのはどなたですか。該当すべてにチェックしてください(複数回答可)。

☐	病棟勤務の新生児科医	☐	小児神経科医	
☐	外来専任の新生児科医	☐	児童精神科医	
☐	病棟勤務の小児科医	☐	その他	内容:
☐	外来専任の小児科医	☐	その他	内容:

*新生児科医は、新生児の診療を主とする小児科医、新生児専門医、新生児科の医師全てを含む

5. NICU 退院児のうち、超低出生体重児(1000g未満)、極低出生体重児(1000～1500g 未満)、1500g 以上の低出生体重児のフォローアップの定期受診は概ね何歳まで行っていますか。また、何歳頃まで必要と考えますか。数字を記入してください。

A)現在

超低出生体重児	歳頃まで
極低出生体重児	歳頃まで
その他の低出生体重児	歳頃まで

B)必要と思うのは

極低出生体重児	歳頃まで
超低出生体重児	歳頃まで
その他の低出生体重児	歳頃まで

6. フォローアップ外来で心理検査(発達検査・知能検査など)や心理相談を行う、公認心理士がいますか。いる場合には数字を記入してください。

☐	いる _____人
☐	いない

いる場合、その方の勤務形態は以下のいずれに該当します(複数回答可)。

☐	常勤 新生児専任
☐	常勤 小児科・他科との兼任
☐	非常勤 新生児専任
☐	非常勤 小児科・他科との兼任
☐	その他_____

7. NICU 退院児フォローアップの定期受診について、受診時の次回受診予約とは別に、受診案内などの患者家族への連絡を行っていますか。

☐	* 行っている	
☐	** 行っていない	
☐	その他	内容:

*行っていると答えた方にお聞きます。それは誰が、どのような方法で行っていますか。

A)誰が(複数回答可)

☐	医師	
☐	看護師・心理士	
☐	事務・医療補助員	
☐	その他	内容:

B)方法(複数回答可)

☐	電話	
☐	郵送	
☐	電子メール(携帯メールを含む)	
☐	SNS (LINE、Facebook、など)	
☐	その他	内容:

**行っていないと答えた方にお聞きます。受診が途切れた時に連絡を行っていますか。

A)誰が(複数回答可)

☐	医師	
☐	看護師・心理士	
☐	事務・医療補助員	
☐	その他	内容:

B)方法(複数回答可)

☐	電話	
☐	郵送	
☐	電子メール(携帯メールを含む)	
☐	SNS (LINE、Facebook、など)	
☐	その他	内容:

8. NICU 退院低出生体重児の診療における地域連携における情報交換についてお聞きします。
地域連携のための情報共有ツールを使用していますか。

☐	*使用している
☐	使用していない

*使用している場合、それはどのようなものですか(複数回答可)。

☐	一般の 母子健康手帳	
☐	厚労省研究班作成「NICU 退院手帳」(極低出生体重児用)	
☐	施設で作成した低出生体重児用手帳または類似のツール	
☐	地域で作成した低出生体重児用手帳(リトルベビーハンドブックを含む)または類似のツール	
☐	クラウド型などの電子医療情報システム	
☐	その他	内容:

9. 地域に NICU 退院児が使える地域の医療情報共有システムがありますか。

☐	*ある
☐	ない

*あると答えた方にお聞きします。どのような機関と情報共有を行っていますか(複数回答可)。

☐	地域の病院	
☐	地域のクリニック	
☐	リハビリテーションセンター	
☐	療育施設	
☐	市町村の担当者	
☐	その他	内容:

10. 貴施設では低出生体重児の家族向け手帳(リトルベビーハンドブック等)を使用されていますか。

☐	*はい
☐	いいえ

*はいと答えた方にお聞きます。

フォローアップ外来で活用されていますか。はいの場合、活用方法を教えてください。

いいえの場合、活用していない理由を教えてください。

☐	はい	活用方法
☐	いいえ	活用していない理由

11. 貴施設では低出生体重児の就学猶予を検討や教育委員会への申請に関わった経験がありますか。

☐	ある
☐	ない

あると答えた方にお聞きます。

直近の5年間でおよそ何例、検討しましたか。検討した例のうち何例が実際に就学猶予をしましたか。

就学猶予に関する保護者との検討や申請時に添付される書類等を記載する際に、考慮する要素を教えてください。

検討した例	_____例
就学猶予した例	_____例
考慮する要素 (複数回答可、その他の場合には記入)	☐ 体格が著しく小さい ☐ 体力がない ☐ 発達遅滞があるが最近の伸びが著しい ☐ 出産予定日が来年度 ☐ 保護者の希望 ☐ 保育園・幼稚園等の同級生との関係性 ☐ その他 (_____)

就学猶予の申請に関して、難しい点や工夫している点があれば、その内容を教えてください。

☐	難しい点	内容
☐	工夫した点	内容

12. NICU 退院児の成人期までの**長期**フォローアップについてのお考えを教えてください。

A) 思春期や成人期のフォローアップの受診契機は、以下のどれが望ましいと思いますか。

◎	患者さん側から受診行動をおこすのが望ましい	
◎	NICU 側が受診を促すのが望ましい	
◎	その他の施設(医療施設、教育機関など)の紹介を介して受診するのが望ましい	
◎	その他	内容:

B) 思春期や成人期のフォローアップの担当診療科は、以下のどれが望ましいと思いますか(複数回答可)。

☐	新生児科・小児科	
☐	小児科	
☐	内科	
☐	上記の両科	
☐	その他	内容:

13. 以下の項目の中で、これまでのフォローアップで困ったことがあれば□にチェックをいれ、その内容を教えてください(複数回答可)。

☐	身体発育の評価と対応
☐	身体合併症の評価と対応
☐	知的症、神経発達症の評価と対応
☐	社会的・経済的支援への対応
☐	療育施設との連携
☐	就学・学校相談
☐	地域連携
☐	その他

ご協力どうもありがとうございました。